

# Face Fine!

がんば  
(顔晴る!)

四日市市立西陵中学校 (HPアドレス <http://www.yokkaichi.ed.jp/~seiryo/>) 第12号

## ネットモラル講座

先週の土曜授業で、GREE(株)の小木曾健さんにお越しいただき『正しく怖がるインターネット』という内容のネットモラル講座をしていただきました。今年度で、三年連続で来ていただいています。

現代の生活において、インターネットを切り離して生活をするのは困難な世の中となっています。そんな世の中を生きていくこれからの私たちにとって大切な内容の講演をしていただきました。小木曾さんは、「この場にいる約80人のうち、将来、インターネットで失敗をしてしまう人が必ず1人はいます。」という出だして話が始められました。その時の皆さんの頭の中には「そんなバカな。まあ、自分ではないよな。」という思いが浮かんでいましたね。しかし、小木曾さんの話に、あれよあれよという間に引き込まれていき…最後には、皆がインターネットを『正しく怖がる』ようになっていました。

もちろん、インターネットは単純に怖いだけのものではありません。『正しく』使えば、とても有効なものです。講演にもあったように、東日本大震災で建物に取り残されていた何百人もの保育園児や妊婦、保育園職員が、SNSのおかげで助かった事例もあります。

一、ネット炎上に必要な人数は「1人、2人、100万人超」

一、「インターネットは玄関の外側」

(日常生活でしていいことは、ネット上でもしてよい。

日常生活ではいけないことは、ネット上ではいけない。)

が、キーワードでしたね。公開状況はもちろん、友だち限定であろうが、ネット上でばれないことはありません。ネット上と日常生活は別物ではありません。つながっているものです。だからこそ、日常生活での振る舞いが大切だと言えます。普段の生活から、意識高く自分自身を成長させていきましょう。

今回学んだことを、忘れずに行動していきたいですね。



小木曾 健(おぎそ けん) グリー株式会社/安心・安全チーム/マネージャ

「グリー」のネットパトロール責任者を経たのち現職。ネット啓発部門の責任者として、全国で年間300回を超える講演、情報モラル教材の作成、メディアへの連載やラジオのコーナー担当などを通じて、ネットの正しい怖がり方を伝えていきます。

## 【皆さんの感想】

- インターネットがどれだけ怖いかを知れました。でも、正しく使えば危険ではないし、皆が使う便利なものなので、そこは勘違いをしてはいけなかったと思います。
- ふざけた行動をインターネットにあげると人生が崩れていく…めっちゃこわいなと思いました。
- よく Twitter で何の制限もかけずに「〇〇（場所）なう」みたいなツイートをするので気を付けようと思いました。
- 「現実でしていいことは、ネットですていい」は、まさにその通りだと思います。東京の渋谷のスクランブル交差点で見せてもいい内容は、ネット上で書いても問題ないと思うし、スクランブル交差点で見せたくない内容は、ネットに書いたらダメだからです。
- 「Twitter は知らない人とつながるから危ないけど、LINE は知り合いだけやから大丈夫」っていう考え方が「Twitter も LINE もおんなじ SNS やから危ない」っていう考え方に変わりました。（中略）自分の身は自分で守ろうと思うので、安全に SNS を使おうと思ったし、使い方を考えれば SNS もいいものになると思いました。
- 「インターネットはすべて玄関の外側」ということを学びました。家の玄関に貼れないことは、インターネットにもあげてはいけないこと、炎上したら名前や住所、家族のことなどがすぐにわかるということが分かりました。
- ネット炎上などはこわいことだけど、それを起こす内容を書いたのは自分。そのせいで人生をこわされるけど、こわしたのは自分。そのことをよく考えてネットを使いたいです。それと「インターネットはすべて玄関の外側」という言葉も頭に入れて、ネットを使いたいです。
- 「インターネットはすべて玄関の外側」という言葉を持ち帰ります。SNS って助けを求めるときはとっても良い存在だけど、1つの写真をネットにあげただけで炎上してしまい、自分の人生あるいは家族の人生が台無しになってしまう怖い武器なんだと分かりました。（中略）私はこの講座で「SNS は時に良い物、時に武器」という言葉を胸にしまっておきたいと思います。“消す、消さない”の問題ではなく、“あげる前に考える”ということが問題なのでは？と思います。
- 「インターネットはすべて玄関の外側」 家の玄関に書けないことはネットに書けないです。自分にマイナスなことを書いても得しません。でも、まず悪いことをしなければいいし、それをまずネットにわざわざあげる人はよくわかりませんが、自分は絶対にしたくないです。
- 質問ですが、インターネットで気持ちなどを伝えたら、2～3割しか伝わらないというのは本当ですか？「今日、何（なん）で来るの？」「えっ…」といやりとりがあった。本当は「今日、何（なに）で来るの？」というのを聞きたかったのに。字の読み方が1つの字で同じものがあるので、わかりにくく、わかりにくいのはひらがなで打つとか、本当に必要な情報なら、電話で伝えるなど工夫した方が良かったと思います。
- 個人情報、きちんと設定などをすると完璧に防げると思っていました。でも、小さな情報だけで、家そして部屋まで特定されてしまうとは知りませんでした。
- ネット炎上は燃え尽きるまでおさまらなくて、一度おかしなものを出すと、100 万人超までいく。この広がりが起こるのに必要な人数は、たったの2人で広まってしまう。そして将来のことに影響する可能性もあるのは初めて知ったので、一切よけいな投稿をしないことを強く思った。そして、一番重要なことは「インターネットはすべて玄関の外側」という言葉。とても分かりやすかったです。